

# ロシアのネットレーベル

嶋田 丈裕<sup>1</sup>

2012年6月9日

第13回 桑野塾 資料

## 1. はじめに

Far From Moscow <http://www.farfrommoscow.com/>

音楽情報サイト (2008年開設)

運営者: David MacFadyen (UCLA Slavic Languages & Literatures Department)

対象エリア: 旧ソ連のスラブ三国およびバルト三国

対象ジャンル: クラシック、メインストリームのポップを除くほぼ全てのジャンル

- indie rock/pop、dance/electronica に強い
- heavy metal や goa/trans など、ほとんど取り上げられないジャンルもある

特徴: エリア内に広がるローカル・シーンに注目

- ロシア (102都市)
- ベラルーシ (10都市)
- ウクライナ (30都市)
- リトアニア (6都市)
- ラトヴィア (7都市)
- エストニア (8都市)
- カザフスタン、モルドヴァ、ハンガリー、ウズベキスタン

Far From Moscow が取り上げる音楽シーンの主要な活動プラットフォーム

- ネットレーベル
- ソーシャル・ネットワーキング・サービス (SNS)
- コンシューマ・ジェネレーテッド・メディア (CGM)
- クラブ、ライブハウス

## 2. ネットレーベル

### 2.2. レーベル

レコード・レーベル=レコード会社もしくはその1セクションに付けられたブランド

---

<sup>1</sup> E-mail: [tfj@kt.rim.or.jp](mailto:tfj@kt.rim.or.jp), web: <http://www.kt.rim.or.jp/~tfj/talk/index.html>, twitter: @tfj\_shimada

レコード会社の6つの機能<sup>2</sup>: (1)制作 (2)宣伝 (3)販売 (4)録音 (5)製造 (6)配送

## 2.2. 機能から見たネットレーベル

- (1) 制作 (A&R) : 主宰する個人もしくは少人数のコレクティヴ
- (2) 宣伝: インターネット (ソーシャルメディア) を活用
- (3) 販売: ほぼ無料配布 (Creative Commons ライセンスを活用)
- (4) 録音: ミュージシャン自身が録音 (自主制作)
- (5) 製造: 物理媒体を用いないので無し
- (6) 配送: インターネットを使ったデジタル配信

## 2.3. ネットレーベルの歴史

ロシアに限らない、主に欧米で展開したネットレーベルの歴史

### 2.3.1. ルーツ (1980 年前後～)

デモシーン: ハッカー・サブカルチャーの一部

デモ=プログラミングで作成したグラフィックス+音楽

交流の場=デモパーティ

コンピュータ: Amiga, Apple II 等

媒体: フロッピーディスク, 草の根 BBS, 等

データフォーマット: MOD (Amiga), MIDI 等

### 2.3.2. 第一世代 (1990 年代半ば～)

背景:

インターネットの一般化: アカデミックから商業へ

ポスト・レイヴのエレクトロニック・ダンス・ミュージックの流行 (1992～)

intelligent techno ~ IDM (intelligent dance music), abstract hip hop 等

コンピュータ: Windows, Mac, UNIX

媒体: インターネット (メーリングリスト、ウェブサイト)

データフォーマット: RealAudio, AU, 等

ライセンス: 非商用無料

---

2 生明 俊夫 『ポピュラー音楽は誰が作るのか — 音楽産業の政治学』 勁草書房, 2004.

## 2.3.2. 第二世代 (2000年代半ば～)

背景：

ブログ、SNS、CGMの普及 (ブログ・サービス開始 1999年)

MP3プレーヤーの普及 (初代 iPod 発売 2001年)

Creative Commons ライセンス発表 (2001年)<sup>3</sup>

ソフトウェアにおけるオープンソースライセンスの考え方から派生

作品の自由な流通、再利用を理解しやすく柔軟に設定できるようにするための  
ルール (商用をも排除しない)

媒体：インターネット (ブログ、ソーシャルメディア、等)

データフォーマット：MP3, Ogg, WAV, 等

ライセンス：Creative Commons ライセンス

## 3. ロシア (旧ソ連) での状況

### 3.1. 1980年前後～

ソビエト時代

アンダーグラウンドなジャズ・シーン、ロック・シーン

デモシーンの対応物があったかは不明

### 3.2. 1990年代半ば～

ソ連崩壊後の混乱期

インターネットの普及<sup>4</sup>

ru ドメイン登録 (1994)

無料 e-mail サービス [www.mail.ru](http://www.mail.ru) 登録者数 100万超 (2000)

主要なインディレーベルの設立

SoLyd (1992) <http://solyd-records.ru/>

FeeLee (1992) <http://feelee.ru/>

LongArms (1996) <http://www.longarms.net/>

Manchester Files (Bomba-Piter) (1996) <http://www.bomba-piter.ru/>

Boheme (1998)

GreenWave (1998)

ロシア IDM シーンの成立とヨーロッパ進出

インディレーベル (カセットから CD へ) の設立

3 クリエイティブ・コモンズ・ジャパン <http://creativecommons.jp/>

4 ナジェーヅダ東井, 井桁 貞義 『ロシア・インターネットの世界』 ユーラシア・ブックレット No. 11, 東洋書店, 2001.

Art-Tek (モスクワ, 1994) Solar X 主宰  
Exotica (モスクワ, 1996)  
Perforated (サンクトペテルブルグ, 1997) Manchester Files のサブレーベル  
Cheburec (サンクトペテルブルグ, 1999)

#### ロシアに広がるシーン

コンピレーション Рассказы Чайковскому Новости (Tell Tschaikowsky The News) シリーズ Vol.1 (1999) ~ Vol.7 (2003)

Vol.1.1 参加ミュージシャンの都市

ノヴォクズネツク、イジェフスク、モスクワ、カリーニングラード、  
ノヴォシビルスク、ケメロヴォ、サンクトペテルブルグ、アルハンゲリ  
スク、チェリャビンスク

#### ヨーロッパへの進出

Solar X: *Little Pretty Automatic* (Worm Interface, 1999)  
SCSI-9: *Middle Of The Way* (Force Tracks, 1999)  
Fizzarum: *Phut Of Plex* (City Centre Office, 1999)  
Fizzarum: *Monochrome Plural* (Domino, 2000)  
Various Artists: *ElektRus* (What's So Funny About, 1999)  
Various Artists: *Ru.electronic* (Lo Recordings, 2001)

ネットレーベルの活動は不明

### 3.3. 2000 年代半ば～

プーチン政権下の安定期

インディレーベルの世代交代

1990年代に登場した IDM のレーベルはほとんど生き残らなかった

ネットレーベルの興隆

先駆的な動き：FREE!MUSIC

各地のシーンのネットワークの確立：NetAudio Russia

シーンの成熟と有料化への試み：FUSELab, Electronica

特徴：

インディレーベルで活動していたアーティスト達も参入

2010年代に入って脱ネットレーベル（有料化、CDリリース）の動きもある

“Prof’s website lets music flow across former Soviet Union”, *UCLA Today*, 2010-11-10.

Far From Moscow の David MacFadyen へのインタビュー記事

どうしてミュージシャンたちは作品をインターネットで無料で配信したのか？

旧ソ連のエリアでの音楽産業の壊滅

1990年代の市場の崩壊

海賊版の大量流通

## 4. ロシアのネットレーベル

### 4.1. 先駆的な動き：Free!Music

Free!Music <http://freemusic-project.ru/>  
レーベルというよりも無料音楽配信のムーブメント (A&R は無い)

きっかけ：コンピレーション OpenMusic (2002)

ALT Linux Master 2.0 (Linux のディストリビューション) に同梱

<ftp://ftp.altlinux.org/pub/distributions/OpenMusic/1/index.html>

データフォーマット：Ogg Vorbis

参加ミュージシャン：

EXIT Project, Maler и Я, Рада и Терновник, Умка и Броневик, Jah Division 等

IDM 文脈のミュージシャンではない。インディからのリリース有り。

オープンソース・ソフトウェアの音楽版

EXIT Project を中心に Free!Music を立ち上げ (2004)

挙げている理由<sup>5</sup>：

メジャーが望むような大売れする音楽はやりたくない／できない

メジャーは少量のリリースはしてくれない

インディにはリリース待ちのアーティストが長蛇の列を成している

インディは配給が信頼できない

ネットレーベルの一般化により、その役割は終えている。

その後の展開：

EXIT Project <http://exitproject.ru/> <http://promodj.com/exitproject>  
nu jazz / electronic jazz のグループ

メンバーは Disen Gage, inFront 等のグループとしても活動

デビュー作：*Live Electricity* (CD Land, 2002)

以降は自身のウェブサイトを使い Creative Commons ライセンスで無料配信。

大手レーベル Союз から Creative Commons ライセンスの CD リリース

Exit Project & Сергей Летов: *Live At Golden Mask* (Союз, 2010)

R.A.I.G. (Russian Association of Independent Genres) <http://www.raig.ru/>

Disen Gage, inFront の参加するインディレーベル

傘下にネットレーベル：Accessory Takes <http://www.raig.ru/AT.asp>

XMZ (Илья Хмыз) <http://www.xmz.ru/>

Инна Желанная & Farlanders、Huur-Huur-Tu のエンジニアとして知られる

レビュー作：*Rabbit's Ear Debut* (Boheme, 1998)

acid jazz と称している

---

5 Free!Music Project – About project <http://freemusic-project.ru/en/node/41>

自身のプロジェクト Maler и Я <http://www.malerija.ru/>  
CDでリリースされたものもあるが、全ての音源を自身のウェブサイトを使い Creative Commons ライセンスで無料配信

## 4.2. ネットレーベルとそのネットワークの確立：NetAudio Russia

NetAudio Russia <http://nikita-golyshev.com/netaudio-russia/>  
Nikita Golyshev [Никита Гольшев] (aka CD-R) と Ilias Mikanaev [Ильяс Миканаев] (aka Zolotu, DJ Soothe) のプロジェクト (2007-2009)  
活動目的：ロシアにおけるインデペンデントなデモシートの出会いの場

ネットレーベル ElectroSound として活動開始 (2005)

派生ネットレーベル Music Excentrica, Share My Wings, Weird Elements

主にリリースしている音楽のスタイル：IDM、ambient techno、実験的な電子音楽、post-rock (ネットレーベルが盛んなジャンル)

最初のリリース：Some Dots Of A Certain Sound (2005)

インディーレーベルで活動していたミュージシャンたちが参加

参加7アーティスト中3アーティストが Art-Tek レーベルで活動していた

Domino からアルバムをリリースしていた Fizzarum が1曲目

ハリコフのミュージシャン (NexSound レーベル) も参加

コンピレーションのシリーズ化

コンピレーション A Place To Live (2007)

ロシアに広がるシーンを紹介：

モスクワ、ペルミ、イジェフスク、ノヴォシビルスク、クラスノダール、サンクトペテルブルグ、ヤロスラヴリ、エカテリンブルグ、バルナウル

ネットレーベルを連携させるプロジェクト：NetAudio Russia (2007)

ネットレーベルのリリースからフェスティバルへ

ヨーロッパで展開されていた NetAudio Festival に倣って

最初：2005年にスイスのベルンで

NetAudio London <http://www.netaudiolondon.cc/>

NetAudio Festival Berlin <http://www.netaudioberlin.de/>

NetAudio Moscow Festival <http://nikita-golyshev.com/netaudio-moscow/>

第1回 2008-09-18

会場：Центр ДОМ (DOM Cultural Center)

参加ネットレーベル：ElectroSound 及びその派生レーベル

参加ミュージシャン：Mujuice、Volga、Monokle、K.D. Expression、

Ambidextrous、Taiga

## 第2回 2009-10-17

会場：Государственный Центр Современного Искусства (National Center for Contemporary Arts)

参加ネットレーベルとミュージシャン：

Subwise (サンクトペテルブルグ) : Raumskaya, Fuu

Tru Type Sounds (モスクワ) : 5-40 am, P-SH

Electronica (イルクーツク) : Frunk29, Vadim Lankov

Passage/Fragment (クラスノダール) : Modul, Killahertz

ElectroSound (モスクワ) : moroza\_knozova, CD-R

2つのコンピレーションのリリース

*Opensource Compilation #1: Russian Music Underground Creative Commons License (2009)*

*Free Music Compilation #2: Russian Files Inside Creative Commons License (2009)*

フェスティバルの様子を伝える記事：

“NetAudio Moscow Festival: Bringing People Together (Even Siberians)”, *Far From Moscow*, 2009-10-19. <http://www.farfrommoscow.com/articles/netaudio-moscow-festival-bringing-people-together-even-siberians.html>

2009年に活動停止。Internet Archiveの音源もほぼ全て削除

2011年に活動再開するも2011年末をもって活動終了

## 4.3. シーンの成熟：FUSELab と Electronica

### 4.3.1. FUSELab

FUSELab <http://fslab.net>

南ロシア・クラスノダール

コレクティヴによる運営

Evgeny Shchukin (Modul, Wols, Feldmaus)

Yuri Vasilchenko (aka Strelnikov)

Mira Ishome (aka Ishome)

Alexey Slepaha (aka SLP)

Anton Rinzai

2005年に2つのネットレーベルとして活動開始

Fragment : IDM、minimal tech house

Passage : ambient、electronica、field recordings

2010年末にFUSELabとして統合

Fragment、Passage、Jumbleの3本立て

一部はExtraとして有料で販売 (beatport, juno, iTunes 等で)

無料のリリースも継続

CD リリースへ

#### Pro-Tez レーベルとの交流

Pro-Tez レーベル <http://www.pro-tez.com/>

SCSI-9 (Anton Kubikov (АНТОН КУБИКОВ) & Maxim Milyutenko (Максим Милютенко))は Force Tracks レーベル倒産後 Kompakt と契約

SCSI-9 と Ed Karapetyan (aka Ed Vertov) が Kompakt 傘下に Pro-Tez レーベル設立 (2005)

目的：ロシアのアーティストを欧米に紹介  
アナログ (12") とデジタルのリリース

SCSI-9 のアルバムを Fragment からリリース

Fragment アーティストたち (Modul, Mujuice, BVoice & KHz, etc) を Pro-Tez からリリース

Modul の別名プロジェクト Wols が Kompakt 傘下の Pinguipung からデビュー  
2009 年頃からの IDM から minimal / dub techno への流行の変化の駆動力に

### 4.3.2. Electronica

Electronica <http://electronicalabel.ru/>

イルクーツクで 2008 年に設立。現在はモスクワを拠点。

主宰：Sasha Khizhnyakov (Саша Хижняков)

2010 年に有料の “Digital release” 開始 (beatport, iTunes 等で)

無料の “Net release” の休止

### 4.3.3. 活動スタイル

コンピレーションと DJ mix、リミックス・ワーク

レーベルのカラーを示すだけでなく、仲間のレーベルとのネットワークを確立・維持する役割もある。

お互いにプロモーションし合う。

ソーシャルメディア (SNS) やコンシューマー・ジェネレーテッド・メディアの活用

twitter

ブログ：LiveJournal → Blogger

ソーシャル・メディア：VKontakte → Facebook

DJ ソーシャル・メディア：PromoDJ → ResidentAdvisor

音楽ソーシャル・メディア：MySpace

インターネットラジオ：last.fm

リリースやイベントの告知、ファンとの交流  
コンテンツ配布：Kroogi → Bandcamp  
Bandcamp：価格・ライセンス設定の自由度が高い  
音楽共有サービス：SoundCloud, MixCloud  
DJ mix やトラックのストリーミング、配布  
動画共有サービス：Vimeo, YouTube  
プロモーション・ビデオやライブ映像  
ディスコグラフィ情報：discogs  
過去のリリース情報（ショップへの誘導）

#### ネットレーベルとレーベルの融合

有料のレーベルの成功：Pro-Tez、Highway Records  
ネットレーベルの成功：FUSELab、Electronica  
有料の digital release と無料の net release  
12"/digital release のインディレーベル (Pro-Tez, Highway, etc) とネットレーベルの相互作用  
ミュージシャンの双方向の行き来  
有料のレーベルもネットレーベルと同様のプロモーション  
DJ mix のポッドキャスト, SoundCloud 等での配布  
SNS を駆使したプロモーション  
Bandcamp を使った販売

#### ローカルシーンのネットワーク

モスクワ指向が低い

#### 4.3.4. 今後の展望

有料化はうまくいくか?：まだまだ未知数

FUSELab や Electronica の有料リリースは定着するか?

有料化に続くレーベルはでてくるか?

ネットレーベルは次々と登場してきている

post-NetAudio Russia のレーベルの例

Echotourist (ノヴォシビルスク) <http://echotourist.blogspot.com/>

“Snow, Emptiness, and Familial Warmth: The Echotourist Compilation”, *Far From Moscow*, 2012-05-14. <http://www.farfrommoscow.com/articles/the-echotourist-compilation.html>

Absurde (ホメリ／ゴメリ) <http://soundcloud.com/absurdeby> と Dust on Boots (ハバロフスク) <http://dob-music.com/>

“Labels Near and Far: Absurde, Dust on Boots, and 26 Tea Drops”, *Far From Moscow*, 2012-05-30. <http://www.farfrommoscow.com/articles/absurde-dust-on-boots-and-26-tea-drops.html>

#### 4.3.5. 補足

話の流れから今回取り上げられなかった話

(1) IDM のネットレーベル・シーンはロシアに閉じていない

NexSound (ハルキウ／ハリコフ, ウクライナ) <http://www.nexsound.org/>  
2000年に有料のレーベルとして活動開始。無料の“net release”も。  
Fundamental Network (ミンスク, ベラルーシ) <http://fundamental.net/>  
AudioTong (クラクフ, ポーランド) <http://audiotong.net/>  
Silent Flow (キシナウ, モルドヴァ) <http://silentflow.org/>

(2) IDM 以外でも、面白いネットレーベルの動きはある

Clinical Archive (モスクワ) <http://www.clinicalarchives.spyw.com/electonica,jazz/imrpov,noise> 等折衷的  
リリース頻度高い：ロシア以外のアーティストのリリースも多い  
abstract hip hop のシーンもネットレーベルは盛ん。  
indie pop/rock のアーティストは、レーベルを作らず、個々のグループが bandcamp 等で配布することが多い。

### 5. おわりに

これはソ連崩壊後のロシア（もしくは旧ソ連ヨーロッパ）に独特のことなのか？  
どことなく既視感がある

1980年代のUS インディー・シーン<sup>6</sup>

アメリカ各地にインディー・レーベル設立ブーム  
SST, Slash (ロスアンジェルス)、Homestead (ニューヨーク)、Alternative Tentacle (サンフランシスコ)、Touch And Go (シカゴ)、Twin/Tone (ミネアポリス)、Dischord (ワシントンDC)、DB Recs (アセズ)、等  
互いに配給しあうインディーレーベルのネットワークの確立  
草の根的、DIY 精神  
基盤となったメディア：カレッジ・ラジオ、CMJ (College Music Journal)

今の時代に最も使い易いメディアが SNS や CGM だったのかもしれない。

以上

<sup>6</sup> Michael Azerrad, *Our Band Could Be Your Live: Scenes from the American Indie Underground, 1981-1991*, Little Brown, 1991.